

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第67号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。



発行 東北風景写真家協会 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8 パルシティ仙台1階F号 東北カラーデュープ株式会社榴岡店内 Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142 HP・https://www.tohoku-fukei.com/ 編集 進藤・阿部

第18回定期総会終了

東北風景写真家協会令和6年第18回定期総会を1月20日、日立システムズホール仙台・3階エッグホールで開催しました。総会は会員総数73名、参加会員52名と委任状提出会員10名で在籍会員の過半数を超え、総会は有効に成立しました。

冒頭、先の能登半島地震で亡くなられた方々への哀悼の意を表し、参加者全員による黙祷を捧げました。開会宣言後、竹内会長のご挨拶を頂き、岡部幹事の司会により、議長に熊谷正幹事を選任し議事進行、進藤幹事長の議案説明、左記の1号議案から7号議案まですべて会員の皆様のご賛同を得て総会は終了しました。

- 議事記
- 2023年度事業報告
 - 2023年度収支報告
 - 会計監査報告
 - 2024年度事業計画(案)
 - 2024年度収支計画(案)
 - 役員改選
 - その他

《注意》総会資料に会員名簿を同封してあります。誤記や修正、変更事項等がありました場合、大友担当幹事か阿部幹事宛にメモ又は電話、メール等にてご連絡をお願いします。特に会員名簿は個人情報につき、お取り扱いには充分お気を付け頂きますようお願い申し上げます。

福田健太郎先生スライド&トークセミナー

「美しい日本の風景を巡る旅・写す楽しみ」

第18回の総会終了後、福田健太郎氏によるセミナーを開催しました。福田氏は会員の皆様も参加された事のある、「太平洋写真学校・北上教室」を創設された竹内敏信先生のお弟子さんで、18歳に写真家を目指し先生のアシスタントを3年務められ「井村淳さんが1つ上、清水哲郎さんが下で、北上教室にも最初の頃参加させて頂いたこともありました。30年ほど前の話です」と最初に紹介いただき、「美しい日本の風景と自然の美しさ是非皆様にお伝えしたいと思ってお伝えしています」とご挨拶と撮影のポイントをお話し戴きました。使用機材は、2台体制のデジタルカメラです。



撮影時の気配り
①絞り値(ƒ値)：ボケを生かすか！シャープにするか！で変える。
②シャッター速度：水の流れや水鳥など動く被写体。

③撮影位置：上からか！下からか！
④明暗値：仕上がりはどうするか？、暗くか？、明るくか？
⑤ISO感度
⑥シャッタータイミング
⑦フレーミング
⑧画像の仕上がり設定(レヒッド、風景、ポート)

トレイト等)設定で色調・階調が変わる。日々撮影を繰り返して見ます。
◆基本の設定：
絞りの優先(AMモード)。
・マニュアルモード、もしくは絞りの優先(AMモード)。
・RAW+Jpeg
・ホワイトバランス
・風景、太陽光が基本。
・感度
・風景でISO100、200が基本、
・但し現場に応じてISOやWBは変える。ISO感度は1000~1600迄で充分奇麗です。状況により3200~6400位迄上げることも。
◆光を読む：
・天候・時間帯・光源状況を意識し撮影。
◆光を付けている事
・光を読む(光の状況で被写体が劇的に変わる)
◎順光：見た目が被写



体の本来の色になり影は目立たず。
◎逆光(太陽に向かって写す)：輝きが強くなり明るく輝く。光と影が分かれるのが特徴。
◎パンフォーカス：超広角レンズで目に触れる位近付いてF2.8で撮影のヒマワリはボケの描写が組み合わされた。

◎逆光撮影：日中か夕暮れ、日の出時に太陽の方向を向いて撮影。ドラマチックな光景が逆光の特徴。
◎サイド光：光と影を

第8回作品展「美しい日本」の選考会が開催されました。作品展の出展作品ご準備は進んでいることと思います。過日は当初の予定通りの選考会が二日間に亘り日立システムズホールで開催されました。竹内先生と会員の和やかな会話があり選考会は順調に終了しました。



作品選考会の状況

●会員の写真展開催のお知らせ●
◆カメラと歩んだ日々～記憶◆
・武内典子 写真展part2
・場所：アエル2階特設会場
・期間：2024年3月29日～4月3日 10時～18時
(初日は12時から、最終日は16時まで)

撮影、16迄。余程の事が無い限り22迄絞り込まない事、(小絞りボケを防止)など。
カメラの機能を活用し、感性を込めた素晴らしい画像を100点ほど投影、「目的や、狙い等しつこく沢山撮ることが大事です」と2時間以上お話し戴き、参加者との集合写真も撮影。その後、懇親会も東京への最終電車時間迄ご参加頂き、楽しい時間を一緒にさせて頂きました。(進藤)

会員の写真展
・マルモリ・ナイト
・小檜山 裕行
・日時：2024年
4月2日～5月12日
9：00～17：00時
土曜日は21：30まで
・場所：仙台市天文台
プレショーギャラリー
・入場無料

写真展
マルモリ・ナイト
-丸森町の星空に魅せられて-
撮影 小檜山 裕行

丸森町には魅力的な風景が数多くあり、星空と一緒に撮影した素晴らしい星景写真になるだろうと思いついて撮影しました。星々に誘われた夜の丸森町の風景をお楽しみください。

友好写真クラブの写真展
・フォト宮城花の会
・日時：3月26日(火)～31日(日)
10～18時 最終日は14時まで
・場所：東北電力グリーンプラザ

フォト宮城花の会
写真展
2024

◆写真展入賞者ご紹介◆
○フォトサミット In sendai 2023
パ・入選
「パッチワーク」
沖津 卓二
「早朝のあわび漁」
松田 利恵子
(前号掲載漏れ)
○宮城写真サロン展
「錦繡の鳴子峡」
川村 裕信
受賞おめでとうございます

◆新入会員の紹介です◆
高橋 富峰市
鈴木 登美夫
仙台市青葉区
佐藤 滋
仙台市青葉区
(敬称略)

★令和6年年会費納入のお願い
年会費(3,000円)は、前年度未納の方も左記いずれかの口座宛にお振込み下さい。振込手数料はご負担をお願いします。
●七十七銀行旭ヶ丘支店
普通 5272599
東北風景写真家協会
ゆうちょ銀行
18190
14388881
トウホクフウケイ
シャシカキョウカイ
お問い合わせ先
会計担当 孫田幹事宛
090-2360-2973
20973
《節約術》七十七銀行宛て、ゆうちょ銀行宛ていずれもインターネット利用振込では振込手数料は無料になります。

お知らせ
◆写真展入賞者ご紹介◆
○フォトサミット In sendai 2023
パ・入選
「パッチワーク」
沖津 卓二
「早朝のあわび漁」
松田 利恵子
(前号掲載漏れ)
○宮城写真サロン展
「錦繡の鳴子峡」
川村 裕信
受賞おめでとうございます

「東北フォトウォーキングクラブ」の撮影地と日程のお知らせです。
撮影の機会を多くして・かつ健康増進にご利用下さい。

フォトウォーキング

講師：竹内 正・丸山慎一(公益社団法人 日本写真協会会員)

《勉強会 令和6年4月11日(木)・見学大歓迎・参加費無料》

場所 日立システムズホール3階エッグホール
(旧・仙台市青年文化センター)

時間 13:30~16:30

フォトウォーキング 1月~3月撮影会作品・自由作品・講評

作品 デジタル:USB、プリント(2L・A4)

フィルム:プリントで 合計 一人6点以内

《フォトウォーキングの予定(4月~6月)》

【各回の参加費用と2年会費】

フォトウォーキング参加費用・4月実施より改訂になります。
3月まで実施は9,000円、4月以降実施分より 11,000円
(バス、高速料、駐車料等税込み) クラブ会費 2年 1,000円

【日程と撮影地】

令和6年3月12日(火)
場所 福島県 いわき梅林寺の梅、21世紀の森公園
集合 泉中央区役所駐車場 7:30発
仙台駅東口バスプール 8:10発

令和6年4月23日(火)
場所 岩手県 小岩井一本桜、刺巻の水芭蕉
集合 仙台駅東口バスプール 7:30発
泉中央区役所駐車場 8:00発

令和6年5月7日(火)
場所 山形県 雪解けの白川湖、白川ダム
集合 泉中央区役所駐車場 7:30発
仙台駅東口バスプール 8:10発

令和6年6月11日(火)
場所 秋田県 新緑の小安峡、川原毛地獄
集合 仙台駅東口バスプール 7:30発
泉中央区役所駐車場 8:00発

申し込み受付開始:『受付中』
河北新報トラベル 電話 022-211-6960
FAX 022-723-4672
インターネット申し込み https://kahoku-travel.com/
企画 東北フォトウォーキングクラブ 協賛 東北風景写真家協会
催行 河北新報トラベル

《撮影旅行関連のお知らせ》

企画していました、春季撮影ツアーは諸般の事情で、撮影セミナーに変更します。実施予定:2024年7月下旬、
詳細は東風季報次号で発表しますのでご期待ください。

写真の生命と詩の生命

南 正一

東北地方には四季を通じて、地域によって様々な風景や情景があります。心に感動する風景や鮮やかな色に染まった風景。
竹内 正先生はじめ協会のみなさんと一緒にお話をしたり、撮影参加させて頂き勉強させて頂いております。技術的には未熟の中で自分なりの写真の楽しみ方をしております。
「写真は心で撮るも」

「だと良く言われます。構図を決めてシャッターを押す。どこか写真も詩も似ているような気がします。何故、そこにレンズを向けてシャッターを押したのか? 撮影者は、その被写体、その場所の空気感に心が動かされ感動したからでしょうか。また、自分はこの好きだということに出会って心が動き、そして、被写体と対話してシ

シャッターを押したのではありません。私は時折「写真と詩」を重ね合わせてしまっています。「写真も詩も心の風景」詩の生命は「詩情」で、詩人とは、詩を書いた人でもあり、詩情を心に宿した者であると思うのです。「情」は心と読みの、詩は誰でも書けるのです。素敵な風景に出会い、心が動かされた写真は、いかさかしく、美しく、嬉しいものです。そして、それぞれの地域にある四季の風景、色の風景、季節の風景、心の風景にはどこか懐かしさを覚えます。

「失われてしまった風景」でも、「思い出してくれば心の風景」となっていて、いつまでもその人の心の中に残ることができるのだと思います。
「写真は撮った人の混じりけのない素直な心」であり、「詩も書いた人の混じりけのない素直な心」の作品ではないかと私は思うので



北川河口に打ち寄せた雪と小石
(2012年2月11日午前7時14分、かじかむ朝)

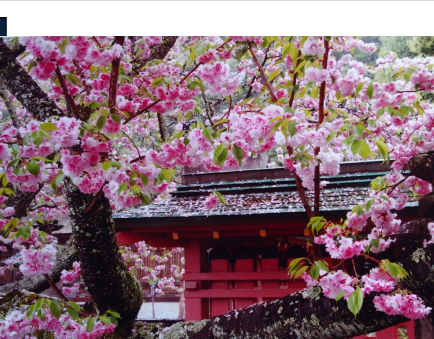
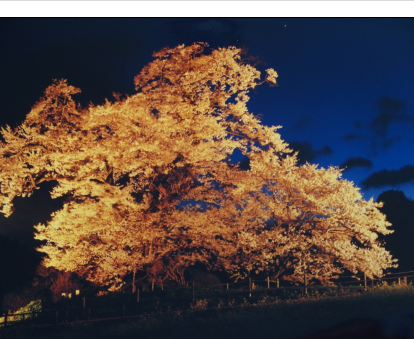
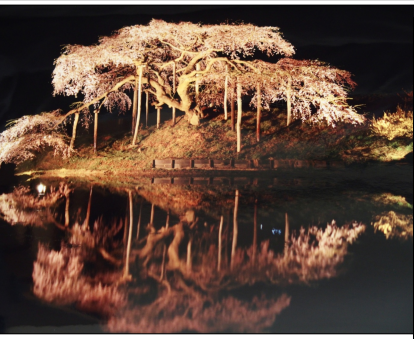
す。そして「自分の心の色の人生旅」なかもしれません。写真も心の色で書き、一人ひとり

の人生にどんな色の付けをして行くでしょう。
令和6年1月31日
寄稿文 南 正一

風景写真・季節の撮影法 | 6
「デジタルカメラと夜桜の撮影」
竹内 正

今回は、夜桜風景の撮影について考えましょう。
1:【準備】
一般的に夜景撮影には、照明装置は必要です。赤外線カメラや夜視カメラなど、特殊なカメラを使用することもありますが、今回はデジタルカメラでの撮影に焦点を当てます。
2:【撮影】
ISO感度を800以上、シャッタースピードを1/60以上、F値をF2.8以上と設定し、三脚を使用し、手ブレ補正をオフにします。
3:【露出補正】
背景が暗い場合は、露出補正を+0.7から+1.7程度に設定し、より明るく撮影します。
4:【ホワイトバランス】
「WB」メニューから「白」を選択し、より自然な色合いを再現します。
5:【フォーカス】
マニュアルフォーカスに設定し、桜の花びらに正確にフォーカスを取ります。
6:【構図】
桜の枝の線や、背景の建物や木々をうまく取り入れ、奥行きのある構図を目指します。
7:【撮影時間】
夜桜の撮影は、薄明かりの時間帯が最も美しく、撮影のチャンスです。
8:【安全対策】
夜間の撮影には、周囲の環境に注意し、安全に撮影を行います。
9:【編集】
撮影した写真をパソコンやスマートフォンで確認し、必要に応じてトリミングや色調整を行います。
10:【保存】
撮影した写真は、必ずバックアップを取って保存し、大切な思い出を残します。

軽でフットワークを重視する。
交通: 仙石線本塩釜駅より徒歩15分です。
見頃は4月下旬、今年はやや早い予想ですので塩釜神社ホームページ等で確認してください。



作例 3
撮影地・中島の地藏桜
データ: ISO 800
f11 0.4秒
露出補正 -1.7
JPEG
手持ち撮影

作例 2
撮影地・塩ノ崎の大さくら
データ: ISO1600
f11 1/4
露出補正 -1.7
PL・JPEG
手持ち撮影

作例 1
撮影地・塩釜さくら
データ: ISO400
f11 1/60
露出補正 -0.7
PL・JPEG
手持ち撮影・小雨

編集後記
2年間待っていた「作品展」がまもなく開催されます。日頃の撮影で撮りためた中の2枚です。楽しみにお待ち下さい。
今回3名の方の入会がありました、今後の活躍をお祈りします。
お知らせの方への会の行事参加と当協会への入会お声がけもよろしくお願いたします。